



眞志会
代表質問 澤本 長俊 議員

ＪＲ湖西線の強風対策について、これまで改善に向けての要望を続けてきたことも要因の一つかと思うが、２月１日から、ＡＩによる強風予測の精度を強化され、近江今津駅まではだいぶ改善されたのではと感じている。しかし、近江今津駅以北については、改善されたとはいっても言えない状況となっている。



市長発信の三つの緊急課題について

問

ＪＲに対し市長として独自に施策、方法を持っておられるのでは

答

積極的につながりに行くというのを進めたいと思っています

問

緊急課題に挙げて、ＪＲ西日本に働きかけていくのとだが、どのように働きかけていくのか。

答 市長

これまでの湖西線利便性向上プロジェクト推進協議会としての活動に加えて、私自身が積極的にＪＲ西日本や県、専門技術者等との意見交換、要望活動を展開することで、関係各所とのつながり、関係性を強化していきたいと考えています。

問

市長として独自に施策、方法を持っておられるものと思っていたがそうではないということか。

答 市長

積極的につながりに行くということを進めたいと思っています。

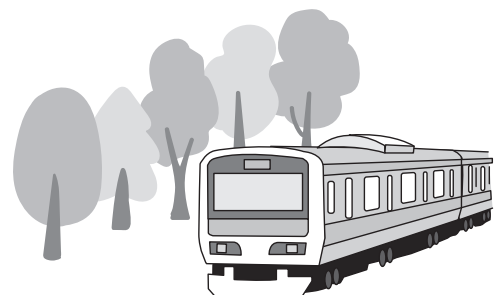


問

いちご農園補助金未返還事業について、市長は以前「補助金を先に支払うことは考えられない、ありえない」とおっしゃっておられたが、今後は、全ての補助金の支払いについて、どのようにされていくのか。

答 市長

案件ごとに可否を判断しなければならぬと認識しており、今後も概算払いが必要と判断した場合は、適切に支払いの対応をしてまいります。



問 刑事面での対応が必要とのことだが、直ちに刑事告訴されるのか。

答 市長

これまでも刑事告訴を視野に入れた対応が行われてきましたが、客観的な証拠が集まっておらず、刑事告訴する段階に至っていない状況です。今後、情報収集など刑事告訴に向けた作業を行ってまいります。刑事告訴については、今しばらくお時間をいただく必要があります。



問 新しいごみ処理施設の建設について、施政方針では、建設規模やコスト、工程に触れられ、建設地については、泰山寺で進められているとだけ発言されているが、新ごみ

処理施設の建設は、泰山寺で建設すると考えてよいのか。

答 市長

現環境センターの場所で建て替える場合とのコスト比較をしながら、建設規模の見直し等によるコストダウン等を検証し、改めてお知らせします。

問 コスト比較は今まで市が保有する資料を精査するのか、それとも新たにコンサル等に依頼するのか。

答 市長

新たに予算計上して、コンサルタントを入れて積算することについては考えていません。

問 市が保有するコストに関する資料は、これまでに公表されているし、市長も確認されているのではないのか。

答 市長

改めてもう一度検証していきたいというところです。

問 当初予算にも泰山寺での計画関連予算を計上されているが、これをストップすることによるリスクは、しっかり捉えていただいているか。

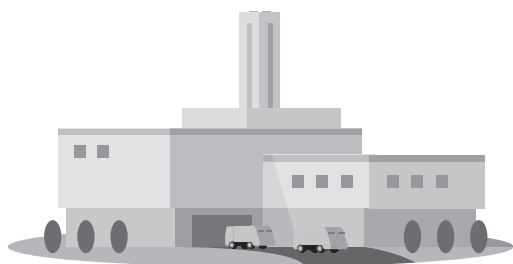
答 市長

ストップすることによるリスクはしっかりと認識しています。

問 当初予算を計上しただけで、執行しないということが。

答 市長

できるだけ当初予算の執行に影響のないスケジュールで検討したいと思っています。



問 どこで建設するかの判断を延ばせば延ばすほど市の負担が増えていくということは理解されているか。

答 市長

市に負担が増えないように、補助金の関係もございますので、延ばさないようにしながら検討させていただきます。

問 防衛省の補助金について、同じごみ処理施設という名目であっても、計画自体が大きく変化したらその事業は新たな計画になるという認識をいただいているのか。

答 市長

例えば、現環境センターの場所に建て替えるといった変化が生じた場合は、当然基本計画も含めて補助金申請も全て新しくしなければならぬと認識しています。